

主題：
ヨハネの繕う務め

メッセージ 5

大いなるわたしはある、わたしは「わたしはあるである」方、すなわち、救い主としての神、すべてを含むキリストが究極的に完成された霊、聖なる息となった

聖書：ヨハネ8:12, 24, 28, 58. 1:1, 14, 29. 11:25. 14:6. 18:4-6. 20:22

I. ヨハネによる福音書は、イエスが大いなるわたしはあるであることを啓示しています——8:24, 28, 58：

A. 「わたしはある」は、エホバの御名です——出3:14：

1. 「エホバ」とは、わたしは「わたしはある」であるを意味し、自ら存在し、永遠に存在する方、すなわち、過去おられ、現在おられ、将来もおられる方を示しています——啓1:4。
2. エホバはご自身だけで存在し、ご自身以外の何にも依存していない唯一の方です。彼は永遠に存在し、始まりも終わりもありません。
3. 神以外の他のものはすべて無です。彼は存在する唯一の方、存在の実際を持つ唯一の方であり（イザヤ40:12-13）、神はわたしたちが「神はある」ことを信じるようにと要求しています（ヘブル11:6）。

B. イエスはエホバです——出3:14. ヨハネ18:4-6：

1. 旧約のエホバは新約のイエスです——マタイ1:23。
2. イエスという名は、「エホバ救い主」、あるいは「エホバの救い」を意味します。ですから、イエスは単に人であるだけでなく、エホバでもあります——21節。
3. 主イエスは「わたしはある」、すなわち、永遠の、自ら存在する神であり、わたしたちにとってすべてである方です——ヨハネ8:24, 28, 58。
4. 大いなるわたしはあるとして、主イエスはエホバ、いつまでも存在する神、人とかかわりを持っている方です。イエスが「わたしはある」を信じない者は、自分の罪の内に死にます——24, 28, 58節。
5. 「わたしはある」として、主イエス・キリストはすべてを含む方、あらゆる積極的な事柄の、また主の民が必要とするあらゆるものの実際です——12節. 6:35. 10:14. 11:25. 14:6. 詩歌61番の1節。

II. 大いなるわたしはあるとしてのイエスは、すべてを含むキリストです：

A. すべてを含むキリストは、言（ヨハネ1:1）、神（1節）、真の光（9節）、幕屋（14節）、恵み（17節）、実際（14, 17節. 8:32, 36. 14:6）、ひとり子（1:18）、神の小羊（29, 36節）、人の子（51節）、はしご（51節）、宮（2:20）、青銅の蛇（3:14）、花婿（29節）、天の井戸と生ける水（4:14）、キリスト（25節）、救い主（42節）、命のパン（6:48）、現されたイエスの栄光（7:39）、命の光（8:12）、命（10:10）、復活（11:25）、一粒の麦（12:24）、道（14:6）、別の慰め主（16-18節）、まことの

ぶどうの木 (15:1)、命の木 (1節. 11:25) 命を与える霊 (3:34)、門 (10:7)、牧場 (9節)、牧者 (11節)、洗う方 (13:4-5)、裂かれた岩 (出17:6. ヨハネ7:37-39) 命の息 (20:22) です。

B. 「おお、主よ、あなたはあの『わたしはある』方であり、わたしたちの必要に応じて供給されます。わたしたちはあなたをすべてとして享受し、神はあなたによって栄光を得られます」(詩歌152番の26節)。

Ⅲ. 究極的に完成された霊は聖なる息として、復活の中のキリストによって、弟子たちの中へと息吹かれました——ヨハネ7:39. 20:22 :

A. 主イエスが十字架につけられ復活させられる前、究極的に完成された霊は「まだなかった」のです——7:39 :

1. 神の霊は初めからそこにありましたが (創1:2)、「キリストの霊」としてのその霊 (ローマ8:9)、「イエス・キリストの霊」(ピリピ1:19) は、ヨハネによる福音書第7章39節の時には「まだなかった」のです。なぜなら、彼の栄光が現されていなかったからです。
2. 主イエスの栄光が現されたのは彼が復活した時であり、この栄光化を通して、神の霊は、肉体と成り、十字架につけられ、復活したイエス・キリストの霊となりました——ルカ24:26. ピリピ1:19。
3. 最後のアダム、肉体の中のキリストであった方は、復活の中で命を与える霊と成りました。その時から、イエス・キリストの霊は神性と人性の両方を持ち、キリストの肉体と成ることと十字架と復活の実際を含んでいます—— I コリント15:4 5後半. 使徒16:7. ローマ8:9。

B. ヨハネによる福音書は、キリストが肉体と成って、神の小羊となったこと、また復活の中で、彼が命を与える霊と成ったことを啓示しています。こういうわけで、彼は復活の中で、ご自身を究極的に完成された霊として、弟子たちの中へと息吹いたので——1:29. 20:22 :

1. 死と復活を通して、キリストはその霊へと^{へんぼう}変貌されました——7:39. 20:22。
2. その霊として、彼が彼の弟子たちの中へと息吹かれたことは、彼が弟子たちの中で生き、彼らが彼によって、彼と共に生きることができるためであり、また彼が彼らの中に住み、彼らが彼の中に住むことができるためです——22節. 14:19-20. 15:4-5。
3. ご自身を弟子たちの中へと息吹いたキリストは命を与える霊です。その霊を弟子たちの中へと息吹くことによって、主イエスはご自身を命またすべてとして彼らの中へと分け与えました—— I コリント15:45後半。
4. ヨハネによる福音書第20章22節の聖霊は実際には復活したキリストご自身です。なぜなら、この霊は彼の息であるからです。ですから、その霊は御子の息です。

C. 主は命を与えるその霊であり、この霊はわたしたちの息です—— II コリント3:6, 17. ヨハネ20:22 :

1. 神である言は肉体と成って神の小羊となり、そして復活の中で、彼はわたしたちが吸い込む聖なる息となりました——1:29. 20:22。
2. キリストは小羊・木です。なぜなら、彼は贖いを達成する小羊であり、また命を

分け与える木であるからです。結局、小羊・木は聖なる息です——1:29. 11:25. 15:1. 20:22。

3. 今や、わたしたちは言、小羊、木、息であるキリストを持っています。言は表現のため、小羊は贖いのため、木は命を分け与えるため、息はわたしたちが生きるためです——1:1, 29. 10:10後半. 14:19。
4. 息として究極的に完成された霊は、クリスチャン生活をするために、わたしたちにとってあらゆるものです。息だけがクリスチャンであり得ますし、息だけが勝利であり得ます——ガラテヤ3:2-3, 14. ピリピ1:19. 啓2:7。

© 2017 *Living Stream Ministry*